

進めよう 校務情報化  
子どもと向き合う時間を増やそう!!

校務情報化推進部会代表 菊地 秀敏

1 校務情報化推進部会の活動について

昨年度の研究では、校務情報化の推進にむけて「まとめる」(情報整理)、「つたえる」(情報活用)、「あつめる」(情報収集)という3つの具体的な提案をした。そして、校務情報化を進めることで、

- ① 校務の情報化により子どもと向き合う時間を増やすだけでなく、教育の質的な向上を図ることが可能である。
- ② 情報の共有化をすすめることにより、同僚から教育のノウハウを学び取ることも可能である。

こと等も分かってきた。

本年度は、市内のほぼ半分の小・中学校で校務用に設定されたコンピュータが配備された。そこで、校務情報化が推進されているか、また、「つたえる」、「あつめる」の提案に関連して校務情報化がどのような内容で実施されているかについて実態調査をし、分析した結果を基にさらに校務情報化の推進に向けて新たな提案したいと考えた。

実態調査から明確になった点は、

- ① すべての学校でサーバ内に共有フォルダの構築をしているものの半数以上の学校では、個人のフォルダも混在の状態で行われていて、誰もが欲しい情報をいつでも利用できる状態にないことやフォルダ構成がばらばらの学校もあり、共有フォルダが使いにくい状態にあることがわかった。このことから、せつかく共有フォルダが存在するのであるなら、校務情報化推進部会で推奨している共有フォルダの標準化をもっと積極的にアピールし、市内のどの学校でも同じ環境で利用できるようにする意義を大いに感じた。
- ② 職員共有フォルダで管理されている業務ファイル内容についての設問では、リーフレットのグラフにもあるように、小・中学校とも教育計画、児童・生徒名簿、各種文書様式、諸たより、諸標示、行事しおり、中学校の成績処理については、かなりの学校で共有されていることがわかった。共有できそうな職員会議資料や教科ワークシート、保健関係記録等が、あまり共有されていないこともわかった。成績処理については、小学校と中学校の教科担任制か否かの違いで利用範囲が異なることも影響していると考えられるが、個人情報の漏洩防止という観点からぜひサーバ内の管理が望まれる内容である。
- ③ その他自由記述の設問から、校務情報化の内容やサーバ・共有フォルダ等の情報管理・セキュリティについての校内研修や教育センターでの研修開催を求める声が多く寄せられた。

これらの実態調査の内容からこの校務情報化推進部会では、「まとめる」、「つたえる」、「あつめる」の3つの提案を今後も積極的に周知し啓発を図るとともに、校務情報化することによってより便利で身近になった校務用設定コンピュータの利用・活用事例の普及に努めたい。

## 2 部会テーマ

校務を情報化・効率化するためのコンピュータの活用のあり方。

## 3 部会のねらい

校務にコンピュータを活用し、校務の情報化・効率化を図ることにより、より質の高い授業をめざした教材研究の時間の確保や子どもと向き合う時間を増やす。

## 4 部会の活動内容

- ・コンピュータによる効率化が可能な校務の研究
- ・校務にかかわる各種様式データの共有＝共有フォルダの標準化
- ・校務情報化推進の実態調査

## 5 校務情報化の具体的な推進事例（提案）

- ① まとめる＝共有フォルダの標準化（改訂版）
- ② つたえる＝週予定表（週案）の電子化，保護者会用進路指導資料の電子化
- ③ あつめる＝校務情報の共有化（各種事務様式，教材ワークシートやテンプレート）
- ④ 各種校務支援ソフトウェアの検討
- ⑤ サーバ内の情報セキュリティに関する情報提供

## 6 まとめと課題

- ① 共有フォルダの標準化は，校務情報化を積極的に推進していく要である。その管理や運用には，情報担当者だけでなく管理職のリーダーシップが必要である。
- ② 校務情報化には教員の連携・協力が不可欠である。
- ③ 個人情報などの情報漏えい防止の観点から，校内における情報セキュリティポリシーを明確にする必要がある。
- ④ 教育センター研修や校内研修等で教員のスキルアップを図っていく必要がある。